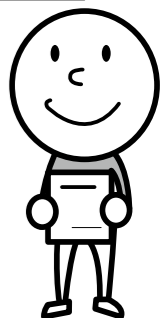


# 高島市地域防災計画を全面的に改正!

4月26日(金)、安曇川公民館で、高島市防災会議(委員38人)が行われ、全面的に改正した「高島市地域防災計画(原子力災害対策編)」が協議され、出席者全員一致で承認されました。

改正された地域防災計画では、福井県での原発事故を第一に、自然災害との複合災害も想定し、滋賀県版UPZ(緊急時防護措置準備区域)に沿って原子力災害対策を重点的に実施する地域を定めるとともに、防災計画の事故想定をもとに、防護対策、避難先、輸送手段等を記載した「高島市住民避難計画」を、別冊として新たに作成しました。



## 高島市地域防災計画(原子力災害対策編)

高島市地域防災計画は、高島市の地域に関する原子力災害対策の基本となる計画で、国の防災基本計画原子力災害対策編および滋賀県地域防災計画、防災関連法令の改正が行われたことを受けて、計画の見直しを行い、次の項目を追加・修正しました。  
この計画は、主に災害発生後の短期的な原子力災害対策を講じるために作成したもので、中長期的な視野での総合的な対策については、国の原子力災害対策指針(新指針)の見直し内容を踏まえて今後検討します。  
★地域防災計画(原子力災害対策編)はホームページから見ることができます。

### 主な追加・修正項目

- 原子力災害対策を重点的に実施すべき地域の範囲を、滋賀県版UPZをもとに設定(左上の図)
- 放射性ヨウ素による甲状腺被ばくを避けるための地域を、「高島市全域」と想定
- 過酷事故や複合災害を想定した職員の動員体制を整備
- モニタリング体制の強化
- 原子力防災に関する知識の普及啓発
- 情報の収集・連絡体制の強化
- 飲食物の摂取制限

### ▼原子力災害対策を重点的に実施すべき地域(大飯・美浜原発同時事故の場合)



地域	原子力災害対策を重点的に実施すべき地域
マキノ	全域
今津	全域
朽木	小川・平良・栃生・村井を除く全域
安曇川	下古賀・上古賀・長尾・中野・田中(泰山寺)
新旭	太田・新庄・安井川(川原市)を除く全域

(注) この地域は、滋賀県の放射性物質の拡散予測に基づき定めたもので、事故が発生した場合は、緊急時モニタリング(放射線の測定)を行い避難地域を決定します。あくまでも、事前に避難の準備をしておく地域であって、地域内の「全住民が同時一斉に避難」するわけではありません。市の指示にしたがって避難行動をお願いします。



## 原子力災害住民避難計画の概要

高島市を含む滋賀県北部と隣接する福井県には、6つの原子力発電所が所在し、計15基の原子炉が設置されており、高島市は、原子力災害の大きなリスクを抱えています。万一、原子力災害が発生した場合、住民の被ばくをできる限り回避するため、屋内退避、避難および安定ヨウ素剤の服用等、原子力災害が発生した時に市および住民がそれぞれ取るべき行動をまとめた「高島市住民避難計画」を新たに策定しました。

### ② 避難

自宅などに屋内退避していても、高い放射線量を浴び続けることにより、身体へ悪い影響が出ることを避けるため、その場から遠く離れた場所へ集団移動することをいいます。

#### 避難集合口場所

最寄りの広域避難所で、避難用バスの乗車場所になります。

#### 原子力災害広域避難所

防護対策地域(県版UPZ)より外側の安全な場所、市が指定する広域避難所です。

#### 市外避難

市内の原子力災害広域避難所で収容困難になった場合や、市内全域で高い放射線量が観測され、市内にとどまることが危険となった場合に、市外(県内または県外)の安全な場所へ移動することをいいます。

### 4つの原子力災害を想定

- ① 大飯原発での単独事故
- ② 美浜原発での単独事故
- ③ 大飯と美浜の2地点同時事故
- ④ 敦賀原発での単独事故

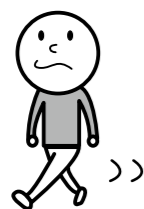
高浜原発事故の影響はないとされていますが、大飯原発の事故と同様の対応をとります。

### 2つの防護対策

#### ① 屋内退避

原子力災害では、事故を起こした発電所から放射性物質が飛来してくるので、その影響を少しでも減らすため、建物内に入る(退避)をいいます。

外にいる場合は、原則徒歩で、自宅や近くの建物に退避



### 地域防災計画って?

災害対策基本法(第42条)に基づき、市町村の長が、それぞれの防災会議に諮り、防災のために処理すべき業務などを具体的に定めた計画です。災害の種類ごとに、地震対策編や風水害対策編、原子力災害対策編などで構成されています。

### 滋賀県版UPZって?

滋賀県が独自の放射性物質の拡散予測に基づき示した緊急時防護措置準備区域(UPZ)です。福井県内の原子力発電所から最大43Kmが対象となります。

国の定めた範囲は原子力発電所から半径30kmですが、より安全側に立って範囲を広げています。

### 屋内に入ったら

顔や手を洗うがいをしましょう

防災行政無線・テレビ・ラジオなどから正しい情報を聞きましょう

ドアや窓を閉め、換気扇やエアコンを止めるなど、外気の侵入を防ぎましょう

